

平成24年度までの入学者のための平成28年度の単位読替え表（平成28年4月、情報学群情報科学類）

標準 配当 学年	旧課程の科目				新課程の科目		読み替え	余剰単位
	区分	科目名	単位	必/選	対応する科目名	単位		
1	専門	ソフトウェアサイエンス概論Ⅰ	1	必修	情報科学概論Ⅰ	2	未履修が1科目：「情報科学概論Ⅰ」を履修、余剰1単位 未履修が2科目：「情報科学概論Ⅰ」を履修 未履修が3科目：「情報科学概論Ⅰ」を履修、不足1単位は任意の専門科目（GA,GB1,2,3,4）で充当	「所属主専攻+学群共通科目」の区分とする
1	専門	情報システム概論Ⅰ	1	必修				
1	専門	知能情報メディア概論Ⅰ	1	必修				
1	専門	コンピュータリテラシ	1	必修	コンピュータリテラシ	2	未履修の場合：新科目を履修	—
1	専門	コンピュータリテラシ実習	1	必修				
1	専門	プログラミング入門Ⅰ	2	必修	プログラミング入門A	1	未履修が「入門Ⅰ」のみ：「入門A・B」を履修、余剰2単位 未履修が「入門Ⅱ」のみ：「入門B」を履修、余剰1単位 未履修が「入門Ⅰ・Ⅱ」：「入門A・B」を履修	「GB1（主として2年次の専門科目）」の区分とする
1	専門	プログラミング入門Ⅱ	2	必修	プログラミング入門B	3		
2→1	専門基礎	情報数学	2	選択	コンピュータ数学	1	(新旧両科目の履修を認める；平成24年度までの入学者が「コンピュータ数学」を履修した場合、専門基礎科目の選択科目の区分とする)	—
2	専門	ソフトウェアサイエンス概論Ⅱ	1	必修	情報科学概論Ⅱ	2	未履修が1科目：「情報科学概論Ⅱ」を履修、余剰1単位 未履修が2科目：「情報科学概論Ⅱ」を履修 未履修が3科目：「情報科学概論Ⅱ」を履修、不足1単位は任意の専門科目（GA,GB1,2,3,4）で充当	「所属主専攻+学群共通科目」の区分とする
2	専門	情報システム概論Ⅱ	1	必修				
2	専門	知能情報メディア概論Ⅱ	1	必修				
2	専門	データ構造とアルゴリズム	2	必修	データ構造とアルゴリズム	3	未履修の場合：新科目を履修、余剰1単位	「GB1（主として2年次の専門科目）」の区分とする
2	専門	データ構造とアルゴリズム実	1	必修	データ構造とアルゴリズム実験	1.5	未履修の場合：新科目を履修、余剰0.5単位	
2	専門	ソフトウェア構成論	2	選択	オブジェクト指向プログラミング実習	1	「ソフトウェア構成論」を未履修の学生が、「オブジェクト指向プログラミング実習」を履修したら、「GB1」の区分とする。（新旧両科目の履修は認めない）	—
2	専門	機械語序論	2	選択	システムプログラミング序論	3	「機械語序論」を未履修の学生が、「システムプログラミング序論」を履修したら、「GB1」の区分とする。（新旧両科目の履修は認めない）	—
2	専門基礎	技術英語Ⅰ	1	選択	技術英語	1	「技術英語Ⅰ」未履修の学生が、「技術英語」を履修したら、専門基礎科目の選択科目の区分とする	—
3	専門	主専攻実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	各2	必修	主専攻実験A、B	各3	未履修が1科目：「A」または「B」を履修、余剰1単位 未履修が2科目：「A」と「B」を履修、余剰2単位 未履修が3科目：「A」と「B」を履修	「所属主専攻+学群共通科目」の区分とする
4	専門	卒業研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ (特別卒業研究も同様)	各2	必修	卒業研究A、B	各3	3科目全て未履修のときは、卒業研究A、Bを履修。 一部のみ未履修のときは、個別相談	—
4	専門基礎	専門語学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	各1	必修	専門語学A、B	各1.5	3科目全て未履修のときは、専門語学A、Bを履修。 一部のみ未履修のときは、個別相談	—

備考

1. 旧課程の学生が、上記の表で対応関係が定められている単位数を超えて、新課程の科目を履修した場合は、原則として卒業単位に認定しない。
(たとえば、主専攻概論Ⅰの3科目をすべて履修した学生が、情報科学概論Ⅰを履修しても、卒業単位に認定しない。)

平成25年度入学者のための平成28年度の単位読替え表（平成28年4月、情報学群情報科学類）

学年	区分	科目名	単位	必/選	対応する科目名	単位	読み替え	余剰単位
1	専門	コンピュータリテラシ	1	必修	コンピュータリテラシ	2	未履修の場合：新科目を履修	—
1	専門	コンピュータリテラシ実習	1	必修				